

国見ジュニア応援団 1年間の活動お疲れ様でした。



町内の小中学生10人がメンバーとして活動してきた国見ジュニア応援団が1年間の活動を終了し、解団式が行われました。



町の元気を全国に発信するために結成され、1年間PR活動などに取り組んできた、国見ジュニア応援団の解団式が2月20日、観月台文化センターで行われました。

解団式では、団長である岡崎忠昭教育長が「応援団の活動から学んだことをもとに、さらに学習を深めてください。1年間お疲れさまでした」とあいさつし、佐藤惺弥さん（国見小6年）から、町へ町旗が返還されました。

解団式終了後には、これまでの活動をスライドショーで振り返りながら、歓談し、楽しいひとときを過ごしました。

国見ジュニア応援団は、国見小学校5年生2人、6年生4人、県北中学校1年生4人の10人がメンバーとなり、全国各地でのPR活動や事前学習に取り組んできました。国見町の現状を知るために、町内をフィールドワークし、事前学習で作った資料をもとに、岩手県平泉町、北海道ニセコ町、岐阜県池田町、神奈川県横浜市などで町のPR発表や果樹の販売体験など、さまざまな活動に取り組まれました。各地での活動や地元の子どもたちとの交流を通して、団員たちは震災からの復興の歩みや町の魅力を力強く発信できる子どもたちに成長していきました。



藤田保育所 くにみ幼稚園で豆まき

2月3日の節分にあわせて、藤田保育所とくにみ幼稚園では豆まきが行われました。子どもたちは悪い鬼を追い払うため、元気に豆をまきました。



イキイキ子育てクラブ閉所式

イキイキ子育てクラブの閉所式が2月22日、藤田保育所内の地域子育て支援センターで行われました。

閉所式では、参加者に阿部正子センター長から「たのしかったで賞」が授与されました。また、一緒に活動したボランティアの方へ子どもたちから手作りのプレゼントが渡されました。イキイキ子育てクラブでは来年度の参加者を募集しています（詳細はP.18）。



ママカフェ 親子で Let's Play!

ママにやさしいまちづくりに向けて「子どもたちの体力・運動能力向上」をテーマとしたママカフェが2月4日に行われました。

会場となった庁舎内のアカマツの広場は、仙台大学の柴田千賀子准教授のプロデュースによりおしゃれなカフェに変身。おいしいコーヒーを飲みながら、仙台大学の金賢植講師の「遊びや運動の大切さ」に関するお話を聞きました。また、郡山女子大学短期大学部の柴田卓講師（ぐるぐる先生）から親子で楽しめる運動が紹介され、参加した子どもたちはパパやママと一緒に元気いっぱい体を動かしました。



桃太郎になりきってポーズ!

国見町屋内遊び場くにみもたん広場に、スタッフ手作りの桃太郎の顔はめパネルが登場しました。

子どもたちはパネルを使って順番に桃太郎役を務めながらポーズを決めてくれました。桃太郎になりきって記念撮影をお楽しみください。

